

男女共同参画のための広報紙

こうとう区報
別冊

こうとうの女性 ともに支えるやさしい社会

No.39

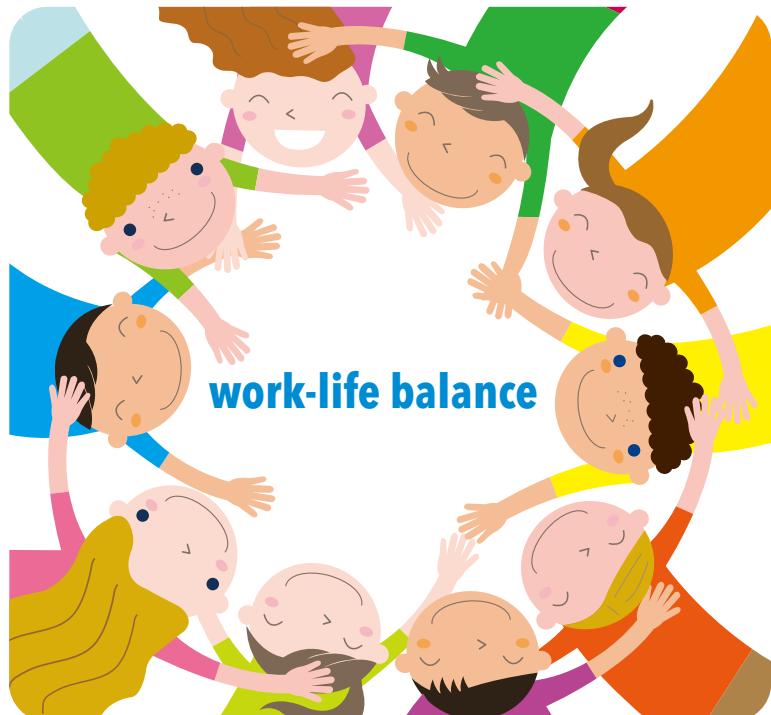
2013年11月1日発行

江東区総務部
男女共同参画推進センター
(パルシティ江東内)

〒135-0011 江東区扇橋3-22-2

☎ 03-5683-0341

[http://www.city.koto.lg.jp/
seikatsu/jinken/7803/index.html](http://www.city.koto.lg.jp/seikatsu/jinken/7803/index.html)



work-life balance

人それぞれのバランスで、「仕事」と「仕事以外の生活」を調和させることで、両者間に好ましい相乗効果を高めようといいます。

人それぞれのバランスとは、生活スタイル（独身・既婚・こどもの有無など）によっても違います。

ワーク・ライフ・バランスって何？

ワーク・ライフ・バランスがうまくいくどうなるの？

近年、ワーク・ライフ・バランスという言葉を目にします。では「仕事と生活の調和」と言われるワーク・ライフ・バランスについて考えていきます。

初歩からのワーク・ライフ・バランス

いますし、青年期・中高年期とといったライフステージによっても変化します。

す。時期によってどこかに比重が高まります。ただし、その時々で様々な制度を活用したり、支援を受けたりしながら、自分で選択した充実した生活を送れるようにする。自分が成長していくような形で暮らしていくことにより、その人にとっての理想の人生を描くことができるでしょう。

企業にとっては、ワーク・ライフ・バランスが推進されれば、社員の力を十分に引き出し持続的に発展することができ、ひいては社会全体にも活力が生まれていくと考えられます。

国は平成19年に各方面と一緒に「仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）憲章」を策定しています。

その憲章では、社会の目指すべき姿として、女性の社会進出、核家族化、高齢化による子育てや介護の問題を抱える人々が増える中で、多様な生き方を選択し実現できる社会を掲げています。

〔2面に続く〕

ワーク・ライフ・バランスの取り組み

区内企業に見る

ワーク・ライフ・バランスの実現に向け努力している先進的企業にお話を伺いました。

株式会社りそなホールディングス

女性が活躍できる
仕組みづくりを推進

全社員がいきいきと
働ける職場を目指して



りそなウーマンズカウンシルのミーティング風景



「育児休業と短時間勤務を利用中の社員
が人づついる。それが最近の支店における
平均的な状態です」と語る、ダイバーシティ
推進室・室長(取材当時の前島孝子さん)

こうした様々な取り組みの結果、現在では全管理職に占める課長クラス以上の女性管理職の比率が、2003年の

理由で一定期間、社員からパートタイマーへと雇用形態を変更できる「社員・パートナー社員間転換制度」、育児などをより退職した社員を再雇用する「J.O.Bリターン制度」など、多様な働き方も実現してきました。

こうした様々な取り組みの結果、現在では全管理職に占める課長クラス以上の女性管理職の比率が、2003年の

女性従業員の声を
経営に反映

こうした取り組みを加速する中心的な役割を果たしてきたのが、2005年4月、経営直轄の諮問機関として発足した「りそなウーマンズカウンシル」です。前述した育児休業期間の延長や各種制度の制定を提言するほか、様々な女性向けセミナーも開催。「復職支援セミナー」は、復職時の心構えや

約5%から14%にまで増加。女性退職率も大幅に減少するなど、着実な効果を上げています。

CONTENTS

- 1面 初歩からのワーク・ライフ・バランス(2面に続く)
- 1面 区内企業に見るワーク・ライフ・バランスの取り組み
- 2面 女性のなやみとDV相談
- 3面 江東区男女共同参画推進センターNEWS
- 4面 江東のひと
江東区男女共同参画推進センターのご案内

こうした取り組みを加速する中心的な役割を果たしてきたのが、2005年4月、経営直轄の諮問機関として発足した「りそなウーマンズカウンシル」です。前述した育児休業期間の延長や各種制度の制定を提言するほか、様々な女性向けセミナーも開催。「復職支援セミナー」は、復職時の心構えや

約5%から14%にまで増加。女性退職率も大幅に減少するなど、着実な効果を上げています。

こうした取り組みが評価され、2012年には経済産業省が推進する「ダイバーシティ経営企業100選」に、グレードの一員であるりそな銀行

が選出されました。今後も、全社員がいきいきと働ける職場づくりへ邁進していくことを期待しています。

DIVERSITY
MANAGEMENT
SELECTION
100
2013
ダイバーシティ経営企業100選マーク